

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	多発性骨髄腫患者の治療効果と医療費に関する研究
研究責任者	骨髄腫アミロイドーシスセンター センター長 鈴木 憲史
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>近年、多発性骨髄腫の研究が進んだことで新薬が相次いで登場しており、移植治療の進歩と相まって長期生存が期待できる疾患となりました。しかし、これら新薬は非常に高価なこともあり、近年多発性骨髄腫の患者さん一人当たりの医療費は増加傾向です。今後は、多発性骨髄腫の治療を選択するにあたって治療効果だけでなく必要な医療費についても十分な検討が必要になると考えられます。そこで、今回私たちは移植治療を行った多発性骨髄腫の患者さんについて、最大治療効果が得られるまでに使用された医療費を検討することにしました。</p> <p>また、近年の研究によって、多発性骨髄腫の患者さんのうち「微小残存病変 (minimal residual disease; MRD)」が陰性化した人たちは病気が進行しない期間が長いことが分かってきました。このことを鑑みて、上記の患者さんの中でも特にMRD陰性となった方の治療内容に注目し、より費用対効果の高い治療を模索することが最終的な目的となります。</p>
研究方法	<p>○対象となる患者さん 2010年1月から2018年5月の期間に、当院で大量抗癌剤併用自家末梢血幹細胞移植、及び同種幹細胞移植を行った多発性骨髄腫の方</p> <p>○方法 患者さんの診療録(カルテ)を用いて、患者さんの治療内容及びその効果、これまでの治療歴、既往歴などのデータを収集します。 また、収集されたデータの範囲で下記の評価項目について検討します。</p> <p>○評価項目 治療内容と治療効果 最大治療効果に到達するまでの期間と使用された医療費 年齢、性別、既往歴などの患者さんの背景</p> <p>※倫理的配慮について 個人情報の保護については十分に配慮して解析を行います。 対象に該当すると思われる患者さんで、本研究への登録を希望されない方はお手数ですが下記までご連絡下さい。 本研究へご協力頂けない場合でも、今後の診療において不利益を被ることはございません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 血液内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：小倉 瑞生 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>